

平成30年度 活動報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人サポネットおごおり

1. 事業の成果

平成30年度は、前年度と同様に「相談支援」、「地域活動支援センターI型」（オープンスペース）、「移送サービス」の3部門それぞれに目標と責任分担を明確化して連携しながら活動を行った。特に今年度は、開所当初からいた職員の退職に伴い、各部門での新規職員採用（相談支援2名、移送サービス1名、事務1名）を行い、職員教育と体制強化を行った。

各部門の内訳として「相談支援」部門は、新たな2名の相談支援専門員に加え、6名体制にて内1名を一般相談の相談員とした。このメンバーで「生活支援事業」「相談支援」「計画相談」「認定調査」「自立支援協議会事務局」「うつ病家族広場」「グローバルネットワークおごおり」「地域交流活動」「地域支援活動」の9本立ての活動を行った。月2日の閉所日（第2日曜日・第4水曜日）以外は相談支援専門員が常駐し、基本相談や来所できない人への訪問や同行、会議等をスムーズに行った。また、専用相談室があり急な相談や来客、休日等に即対応が出来て助かっている。

「生活支援事業」では、「本人活動支援事業」として各団体の支援や個人活動支援、「ボランティア活動支援事業」として行事へのボランティア要請を行うと共にボランティアの育成を行った。「福祉機器リサイクル事業」では、広報誌や掲示板を利用し、関係機関への周知を行ない、提供10件（7品目26点）、譲渡10件（7品目18点）のリサイクル斡旋をおこなった。課題としては、リサイクル機器の常設会場がない為、大型の福祉機器は提供者宅に保管したままで、見本がない状態での斡旋になるため、譲渡の調整に時間がかかることが多くあった。

「相談支援」については、6名の相談支援専門員で1名を一般相談の相談員、5名を相談支援専門員（知的・身体・精神）として対応し、5,466件（延べ件数）の相談があった。内訳は来所相談420件、電話・メール相談3,202件、訪問580件、同行281件、支援会議124件、関係機関859件（全て延べ件数）となっている。同時に県や地域の勉強会等への参加を推進し、レベルアップを行った。

「計画相談」は5名の相談支援専門員（知的・身体・精神）を固定し、各自上限件数を決めて対応を行った。554件【内訳、新規26件（実人数26名）、更新272件、モニタリング256件】を実施した。計画作成に伴う本人や関係者との支援会議や自宅訪問、更にモニタリング等の事業者訪問や同行等で外出が多くなり、毎月の計画相談件数をセーブしなければ、対応が難しい時もあった。今年度は相談支援専門員の固定と報酬改定での事業所加算や新設加算があり、予想を上回る

収益があったが、市内に計画相談を行う事業所が少ないため、利用者さんとの関係にて引き受けざるを得ない件数があり苦慮した。同時に作成する書類等の増加が見られ、担当課（障がい福祉課）との確認を行った。

「認定調査」は、3 障害合せ 180 名の調査を行った。新しく採用した職員も資格を取得し、5 名の調査員に障害種別の専門性を持たせ対応した。急な調査依頼への対応や調査場所については自宅より施設が多くなり、訪問・同行・支援会議と重ならない為の日程調整に苦慮した。

「自立支援協議会事務局」については 12 年目となり、毎月 1 回の「運営会議」の他、「ネットワーク会議」「学校教育連絡会」「各ワーキングチーム」(WT) を実施した。障害当事者を含む市内障害者関係機関による「ネットワーク会議」は、年 3 回開催した。内容として、災害時における対応や地域生活支援拠点事業について地域の資源の把握を行った。また、今年度は活動内容が似通っている事などを踏まえ「居宅WT」、「住まいWT」、「日中活動WT」が合併し、「生活 WT」として発足した。それにより「就労 WT」「児童 WT」「相談支援 WT」「生活 WT」の 4 つの WT にて、独自に勉強会(年 3~8 回)を行った。今年度は就労セミナーの代わりにイオン小郡にて「小郡・まごころマルシェ」を行なった。非常に評判が良く、数点は市のふるさと納税の返礼品となっている。「全体会」については、今年 3 回実施し「第 3 期小郡市障がい者計画」を策定した。「相談支援 WT」においては報酬改定に伴い、市福祉課との意見交換会を行った。

「学校教育連絡会」については、8 月に実施し 30 名の参加があった。市内保育園・幼稚園、小・中・高校・特別支援学校の先生方や障がい福祉課、子育て支援課、教育委員会の担当者の参加、及び児童 WT の担当者が初めて参加し、市内に新設された事業所の紹介や利用方法、学校での気になる子供さんへの対応等の意見交換会を行なった。その際、出てきた困難事例については各機関（子育て支援課、障がい福祉課、教育委員会、サポネットおごおり）等と連携しながら対応している。市の縦型の組織を横に繋げ、地域資源を活用することで、障がい児や家族が生活しやすい地域になるのではと考える。

「うつ病家族広場」については、平成 22 年 1 月より、毎月 1 回実施している。スタッフはサポネットから 2 名、市福祉課から 1 名。今年は 9 年目となり延べ 26 名の家族の参加があった。参加人数の減少もあり、開催の頻度や曜日など今後も要望などを聞きながら形態を考えながら家族のニーズに応じて行きたい。

「グローバルネットワークおごおり」で行う障害児の長期休暇中（春休み・夏休み・冬休み）のデイサービス事業は、毎回利用する保護者からは前もって期日の問い合わせが増加し、事業への期待が大きくなるとともに、新しい障害児の参加もあっている。しかし本年度はウインタースクール、スプリングスクールと参加数が減少した。理由として、市内に障害児を受け入れる事業所が増えたため、そちらへの移行が考えられる。反面、ボランティアが 2~3 名体制で行えるため、利用者や家族からは非常に喜ばれている。

「**地域交流活動**」については、障害児（者）の啓発活動の一環として、市内外からの個人・団体の見学や小・中・高生の実習受け入れや講師派遣を行った。特に市内中学校（宝城・大原・三国）が固定して来たと思われる。また、大原小学校ことばの教室へも講師に伺い、その後の支援へと繋がっている。

今年度は、精神障がい者実習担当の職員が育休の為、社会福祉士資格取得の為の学生現場実習受け入れのみとした。

「**地域支援活動**」についても、小郡市内の各障害者団体との自立支援協議会を通じて連携も密に取れるようになり、その団体に応じたいろいろな支援が出来たと思われる。

次に「**地域活動支援センター I 型**」（オープンスペース）では、常時 2 名以上の職員を配置し、「いつでも行ける場所」「いつでも相談できる場所」として定着してきた。本年度は、オープンスペース担当職員を相談支援専門員が兼任し、職員と同時にスタッフの人手不足の時は有償ボランティアをお願いし、必ず 2 名のスタッフ配置とした。平日はもちろん、土・日・祭日には市外（久留米市等）や県外（鳥栖市等）からも来所があり、障害児・者やその家族・知人等、通所施設の利用者や就労している人が気軽に行ける場として、不可欠な場所となっている。

来訪者数は 4,595 名（延べ人数）だった。市内に障害者施設が増えてきた為か、平日の日中は少なく、事業所が終了した後からの利用が多くなる。休日は朝から利用者が非常に多く 1 日を通して 20 名以上になることが多い。定例の行事（昼食会・レク会等）への参加は毎月 20 名~30 名ほどあり、オープンスペースが混雑する場合は、あすてらす館内のゾーン（温泉・エントランスホール）を利用して過ごされている。また、男性利用者が多く女性が利用しにくいという事で初めた「レディースデー」は年 1 回の実施。好評でその後の平日でもスムーズに女性利用者が入れるようになった。

最後に「**小郡市福祉有償運送事業（移送サービス）**」については、運転手 7 名、（専任 2 名、兼任 5 名）、車いす対応車両 3 台体制で行い、無事故・無違反（道路交通法第 72 条第 1 項）を続けている。平成 31 年 3 月（平成 17 年 3 月に取得）に、5 回目の更新を行った。

平成 30 年度の利用登録者は 321 名、移送回数は 延べ 4,971 件（昨年より 796 件減）となり総収益（移送代金と年会費）は 3,632,420 円となった。

3 台体制のため、予約時点で調整を行なうことで早朝の対応も行ない、障害（身体・知的・精神・児童・特定疾患）に応じた対応（介助）にて、安心して乗車して頂けると考える。その反面、維持経費（人件費や燃料費等）もあり、タクシー料金の半額という利用料金では収益は出ず本年度も実質赤字になっている。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動法人に係る事業

定款の事業	事業の内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者の生活支援に係る事業(1)	認定調査事業(面接)	通年 9時～ 17時	調査対象者宅 施設・病院 相談室	5名	障害(児)者 180名	
	生活相談事業(来所)	通年 9時～ 17時	支援センター 相談室	6名	障害(児)者・家族・関係者等 (延べ)420件	
	生活相談事業(電話・メール)	通年 9時～ 17時	支援センター	6名	障害(児)者・家族・関係者等 (延べ)3,193件	
	生活相談事業(同行)	通年 9時～ 17時	市役所・施設・病院等	6名	障害(児)者・家族 (延べ)281件	
	生活相談事業(訪問)	通年 9時～ 17時	自宅・施設・病院等	6名	障害(児)者・家族 (延べ)580件	
	生活相談事業(支援会議)	通年	支援センター 自宅・市福祉課等	6名	障害(児)者・家族・関係者 (延べ)124件	
	生活相談事業(計画相談)	通年 9時～ 17時	自宅・相談室 施設・病院等	6名	障害(児)者 計画相談 (延べ)554件	
	生活支援活動(オープンスペース利用)	通年 9時～ 17時	支援センター	9名	障害(児)者・家族・ボランティア (延べ)4,595名	
	生活支援活動(昼食会)	月1回 10時～ 13時	あすてらす 調理実習室	9名	障害(児)者・家族・ボランティア 5回(延べ)64名	
	生活支援活動(レクレーション会)	月1回 13時半～ 15時半	あすてらす 多目的ホール 会議室2	9名	障害(児)者・家族・ボランティア 3回(延べ)44名	
	生活支援活動(クリスマス会)	12/23	あすてらす 多目的ホール	9名	障害(児)者・家族・ボランティア 24名	

生活支援活動 (レディース デイ)	2/17	あすてらす 研修室	2名	障害(児)者・家 族・ボランティア 6名
生活支援活動 (メンズデイ)	2/17	あすてらす 研修室	1名	障害(児)者・家 族・ボランティア 8名
生活支援活動 (お花見会)	3/24	あすてらす	9名	障害(児)者・家 族・ボランティア 26名
生活支援活動 (お散歩会)	3/24	あすてらす周 辺	3名	障害(児)者・家 族・ボランティア 14名
生活支援活動 (野球観戦)	4/7	小郡市民球場	3名	障害(児)者・家 族・ボランティア 5名
生活支援活動 (ランチ会)	4/22	市外飲食店	4名	障害(児)者・ボラ ンティア 16名
生活支援活動 (DVD鑑賞 会)	5/27	あすてらす 視聴覚室	1名	障害(児)者・家 族・ボランティア 13名
生活支援活動 (野球観戦)	6/17	福岡ヤフオク ドーム	3名	障害(児)者・家 族・ボランティア 16名
生活支援活動 (ボウリング 会)	8/26	楽市楽座 210 久留米店	3名	障害(児)者・家 族・ボランティア 19名
生活支援活動 (お弁当 Day)	8/26	支援センター	7名	障害(児)者・家 族・ボランティア 19名
生活支援事業 (ふれあいオ リンピック)	10/21	小郡市体育館	2名	障害(児)者・家 族・ボランティア 12名
生活支援活動 (カラオケ大 会)	11/18	あすてらす 音楽教養室	2名	障害(児)者・ボラ ンティア 9名

	生活支援活動 (忘年会)	11/25	一品香小郡店	8名	障害者・ボランティア 15名
	生活支援事業 (うつ病家族 広場)	月1回 13時半 ~15時	あすてらす 研修室1	3名	障害者家族 (延べ)26名
	生活支援活動 (グローバルネ ットワークお ごおり)	年3回 10日間	あすてらす 多目的ホール 調理実習室等	2名	障害児・ボランテ ィア (延べ)184名
	小郡市福祉有 償運送事業 (移送サービ ス事業)	随時	小郡市を発着 地とする圏域	7名	障害者手帳所持者 及び登録者 321名 (延べ)4,971件
障害者への理 解を深める為 の啓発活動に 関する事業(2)	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	4/12	サポネットお ごおり	7名	きぼうの家実習生 (社会福祉士) 1名
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	6/13 ~ 2日間	サポネットお ごおり	7名	三国中学校生徒職 場体験 1名
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/26 ~ 2日間	サポネットお ごおり	7名	宝城中学校生徒職 場体験 1名
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/6 ~ 24日間	サポネットお ごおり	7名	フチガミ医療福祉 専門学校相談援助 実習 1名
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/7	サポネットお ごおり	7名	小郡市社会福祉協 議会実習生 (社会福祉士) 1名
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/21 ~ 3日間	サポネットお ごおり	7名	小郡市社会福祉協 議会実習生 (社会福祉士) 4名
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	9/18 ~ 24日間	サポネットお ごおり	7名	久留米大学相談援 助実習 1名

	地域交流活動 (実習生、研修生の受け入れ)	11/8 ~ 2日間	サポネットお ごおり	7名	大原中学校 職場 体験 2名
	地域交流活動 (見学者への説明)	10/12	あすてらす オープンスペ ース	7名	朝倉市市役所 2名
	地域交流活動 (研修会への講 師)	12/18 9:30~ 12:00	大原小学校	1名	大原小学校ことば の教室勉強会 20名
	地域交流活動 (研修会への講 師)	1/24 14:00 ~14:50	本間病院	1名	本間病院交流会 15名
	地域交流活動 (研修会への講 師)	3/12 10:00~ 12:00	あすてらす 視聴覚室	1名	精神障がい者地域 支援会議 100名
	地域交流活動 (小郡・まごこ ろマルシェ)	2/9	小郡イオン	1名	障害(児)者・家 族・ボランティ ア・関係者 30名
障害者団体が 行う上記の (1)(2)の活動 の支援事業	地域支援事業 (イルカの会 例会)	10回	あすてらす 会議室3	1名	イルカの会定例会 会場予約 1回
	地域支援事業 (小郡市身体 障害者体育大 会)	4/29	博多の森 陸上競技場	1名	身障協会員・家 族・関係者 (延べ)20名
	地域支援事業 (身障協ふれ あいオリンピ ック)	10/14	小郡市市民体 育館	2名	身障協会員・家 族・関係者 (延べ)18名
	地域支援事業 (身障協日帰 り旅行サポー ト)	11/4	荒木観光ホテ ル	2名	身障協会員・家 族・関係者 27名
	地域支援事業 (ワークショ ップ虹会議)	6回	ワークショッ プ虹	3名	虹職員・精神障が い者関係職員 (延べ)34名

	地域支援事業 (精神障がい者地域支援会議)	1回	めくばーる健康福祉館	2名	精神障がい者関係職員 50名	0
	地域支援事業 (精神障がい者地域移行支援連絡会)	2回	めくばーる健康福祉館	2名	精神障がい者関係職員 41名	

(2) その他の事業

定款の事業	事業の内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
	該当なし					